

### 加藤学園暁秀中学高等学校 取り組み紹介

加藤学園暁秀中学校高等学校 バイリンガルコース ディレクター  
ウェンドフェルト延子

「ふじのくに」で地域づくりとして目指す方向性は、加藤学園暁秀で実践している国際バカロレア教育とかなり親和性が高い

「ふじのくに」：魅力ある教育環境の整備  
国際バカロレア (IB)と英語イマージョン：全人教育

「ふじのくに」	加藤学園暁秀
国際理解教育、国際バカロレア教育	英語イマージョンは、1992年から 国際バカロレアは、2000年から実施 日本初のバカロレア認定校 20年以上の実践経験
家庭や地域における人づくり活動	学校での学びを社会に生かす 中学生 SA(Service As Action) 高校生 CAS(Creativity Activity Service) 例：環境問題取り組み、地域の子どもたちに英語を教える、商店街の活性化（商店を舞台にした小説を書き店のイメージを醸成）、商店街のリノベーションプロジェクト
超スマート社会、グローバル化の進展	国際バカロレア 理念をカリキュラム内で実践 思いやり、コミュニケーション、探究、知識、心を開く、振り返り、挑戦する、考える
優秀な外国人留学生積極的に受け入れ 世界各国の大学に進学	英語での授業／グローバルスタンダードの教育内容 世界の大学へ進学可能（英語圏以外にも、シンガポール、マレーシア、オランダ、フランス、チェコ、イタリア、イスラエル、南アフリカ）

海外進学・留学支援	海外に出ていく準備 言語、思考スキル 世界のどの地域にも進学可能
グローバル人材	知識だけでなく、グローバルに活躍する スキルを身につけている 多様性に対する対応ができています
社会におけるイノベーション	TOK(知の理論) で現状の社会を分析的 に検討して、そこから変革を起こす後押し をしている
体験活動の推進	中学 SA・高校 CAS
教職員の資質の向上	IB 指定の充実した研修 更新 学校がその教育内容を IB にモニターさ れ、審査される